

行 政 報 告

第2回町議会定例会にあたり行政報告を申し上げます。

はじめに、令和3年度各会計の出納閉鎖による決算見込みについて申し上げます。

一般会計は、1億5,858万9千円の繰越しとなりました。

歳入は、令和4年度への繰越明許費分を除いた予算に対して9,840万8千円の減となりましたが、町税は予算に対し3,203万9千円の増となり、歳出は、繰越明許費分を除いた実質の不用額は2億5,667万円となっております。

後期高齢者医療特別会計は、87万1千円の繰越しとなりました。

国民健康保険特別会計は、国民健康保険事業費納付金などの減により、1,098万2千円の繰越しとなりました。

介護保険特別会計は、介護保険給付費などの減により、5,382万1千円の繰越しとなりました。介護保険給付費に係る交付金等は翌年度に精算されることから、精算額が確定しだい議会へ補正予算を提案いたします。

公共下水道事業特別会計は、経費の節減に努める中、各支出科目の不用額の発生などにより、790万2千円の繰越しとなりました。

ガス事業会計は、年間ガス販売量が前年度対比1万3千立方メートル減の18万9千立方メートルとなりましたが、ガス売上は73万4千円の増収となりました。

事業収支では、経費の節減に努めましたが、原料費や修繕費等が増となったことから、2,139万5千円の当年度純損失となっております。

この当年度純損失を前年度繰越欠損金４億１，３５６万８千円に加えますと、当年度未処理欠損金は４億３，４９６万３千円となります。

水道事業会計は、年間給水量が前年度対比２万立方メートル減の５７万立方メートルとなり、給水収益は１８６万２千円の減収となりました。

事業収支では、経費の節減等により３，１５１万５千円の当年度純利益となっております。

病院事業会計は、前年度に比較し、入院患者数は２６．７％の増加となり、入院収益は２，０５９万７千円の増収となりました。外来患者数は２．５％の増加となり、外来収益は１，７２６万９千円の増収となりました。

支出では、前年度に比べ医業費用が２，５５８万９千円の増加、医業外費用は７万６千円の減少となっております。

事業収支では、一般会計から３億９，０００万円の補助金を繰入れたものの、決算では６２７万６千円の当年度純損失となり、この当年度純損失を前年度繰越欠損金５億１，６８７万７千円に加えますと、当年度未処理欠損金は５億２，３１５万３千円となります。

なお、各会計の詳細につきましては決算上程の際に関係資料を提出いたします。

次に、新型コロナウイルスワクチン接種事業について申し上げます。

現在、１２歳以上の方を対象とした３回目接種はほぼ終了し、５歳から１１歳の小児を対象とした接種を長万部町立病院小児科で実施しております。

重症化予防のため、６０歳以上及び１８歳以上６０歳未満で基礎疾患を有する方などを対象に実施する４回目接種は、高齢者施設入所者等は７月に、その他の方は８月に長万部町福祉センターにおいて実施する予定で、関連する費用についての補正予算を本定例会に提案いたしております。

次に、ふるさと納税について申し上げます。

長万部町まちづくり基金条例による、ふるさと納税の令和3年度の取組といたしまして、返礼品発送管理と寄附サイト画像登録等の委託強化を行い、新たな寄附サイト及び返礼品の大幅な増加を行いました。寄附状況は、2,427件、5,247万円となり、前年度と比較し270万円の微増となりました。なお、令和3年度末現在の基金残高は、まちづくり基金を取り崩し、各目的別事業の財源として合計4,000万円を充当し、1億7,246万3,218円となっております。

今後は、返礼品等のさらなる充実を図るとともに、町を応援してもらうための取組を強化しながら、ふるさと納税による寄附の拡大を目指してまいります。

さらに、企業版ふるさと納税につきましては、地域再生計画が認定されましたので、寄附事業プロジェクトの企画立案を行ってまいります。

次に、北海道新幹線関係について申し上げます。

現在、町内では5つのトンネル工事が施工中であり、6月1日現在において、掘削中の立岩トンネルのルコツ工区では、本坑5,000メートルのうち延長3,988メートルが、豊津工区では2,065メートルのうち1,061メートルが掘削されており、内浦トンネルの静狩工区は、本坑5,570メートルのうち延長2,542メートルが掘削されております。また、豊野トンネル外1箇所では本坑2,105メートルのうち1,114メートルが、国縫トンネルについても本坑1,340メートルのうち955メートルが掘削されているところであります。

昨年5月に鉄道運輸機構から新たに作成依頼のあった、新幹線長万部駅のデザインコンセプトにつきましては、長万部高校の生徒7名と長万部まちづくり推進会議委員で構成した「新幹線駅デザイン検討委員会」に諮問していたところ、本年1月31日に答申があり、これを元に作成した「北海道新幹線長万部駅舎デザインに関する要望書」を3月2日に鉄道運輸機構北海道新幹線建設局に提出してまいりました。

提出した長万部駅デザインコンセプトは、「湯けむり香る噴火湾、人と時代の交差点」であり、市街地に温泉があることを表現するとともに、町では内浦湾を「噴火湾」と呼び親しんでいることや古くから鉄道の要衝であったこと、これから新幹線駅となってますます交通拠点として繁栄することを期待する思いが込められております。

次に、新幹線長万部駅前周辺整備について申し上げます。

駅前周辺整備と北海道新幹線の工事状況についての住民説明会を、5月13日に学習文化センターで、14日にあつまんべで開催し、両日合わせて延べ129名の出席がありました。

内容につきましては、町から自由通路の基本設計や駅前再開発のイメージ、土地区画整理事業の概要について、動画やイメージ図などを用いて説明いたしました。また、北海道新幹線の工事状況については、鉄道運輸機構から内浦トンネル静狩工区の工事映像を上映するなどして説明を行いました。

次に、老人福祉関係について申し上げます。

高齢者や心身に重度の障害を持つ方が、社会参加や日常生活の中で、タクシーを交通手段の一つとして容易に利用できるよう料金の一部を助成しておりますタクシーチケットは、4月6日から役場窓口で、12日には国縫・中ノ沢・双葉・静狩の各会館に出向き交付を行いました。5月末までの対象件数は787件で、交付件数は625件、約79%の交付率であります。

60歳以上の高齢者を対象とした町内温泉施設の入浴料金助成事業は、6月13日から受付を開始いたしております。

次に、児童福祉関係について申し上げます。

4月1日にさかえ保育所の入所式を行い、今年度の入所児童数は、定員60名に対し32名の入所となっております。

一時保育事業の4月の利用は、3歳未満児が3名で延べ3日間、小学校低学年児童受入事業の利用は、1年生から3年生が3名で延べ23日間、保育所に併設している地域子育て支援センターは、延べ14組で29名の親子の利用となっております。

放課後児童健全育成委託事業の学童保育所「ななかまど」は、現在、小学1年生3名、2年生3名、3年生3名、4年生3名、5年生3名の計15名の入所となっております。

認定こども園である長万部マリア幼稚園の今年度の入園児童数は、利用定員60名に対し40名の入園となっております。

次に、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付事業について申し上げます。

真に生活に困っている方々への支援措置の強化として、住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金について、家計急変により受給資格があるにもかかわらず、申請がないことにより受給できていない世帯に対して、令和4年度課税情報を活用したプッシュ型給付を行う形での運用改善を図ることとされました。

令和3年度住民税非課税世帯等臨時特別給付金の給付を受けた世帯以外の世帯主の方で、令和4年度分の市町村民税均等割が非課税である世帯や令和4年1月以降の家計急変世帯に対し、1世帯あたり10万円が支給されますので、関連する費用についての補正予算を本定例会に提案しており、速やかに支給できるよう準備を進めております。

次に、子育て世帯生活支援特別給付事業について申し上げます。

新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、食費等の物価高騰等に直面する低所得のひとり親・ふたり親子育て世帯に対し、その実情を踏まえた生活の支援を行う観点から、子育て世帯生活支援特別給付金として児童1人あたり一律5万円が支給されます。

ひとり親世帯以外の子育て世帯分につきましては、町から支給することになっておりますので、関連する費用についての補正予算を本定例会に提案しており、速やかに支給できるよう準備を進めております。

次に、生活環境関係について申し上げます。

令和３年度の本町のゴミ収集総量は、１，９１７トンで、前年度と比較して２３トンの増となっております。

渡島廃棄物処理広域連合に排出した可燃ゴミの量は、１，５８６トンで、前年度と比較し３１トンほど増加いたしました。

ゴミ減量化の一環としては、小型家電は役場内に、廃食用油は各会館等に無料回収ボックスを設置し、衣類については各地域等へ年２回の巡回無料回収と役場内担当窓口での随時無料回収を行っております。

今後もゴミの減量には、町民一人ひとりの意識と実行が欠かせないため、ゴミの分別排出にもご協力いただくよう一層の啓発に努めてまいります。

次に、農業関係について申し上げます。

家畜の主たる飼料作物である牧草につきましては、４月及び５月の平均気温は平年並みで、５月１５日現在の作況状況では、降水量は少なかったものの、日照時間は例年より多く生育は順調に進んでおります。また、サイレージ用とうもろこしについても播種作業が平年並に進んでおります。

牧野事業では、足腰の強い優良な後継牛の育成や生産コストの低減と酪農経営の安定を図るため、公共牧場の運営事業を行っておりますが、入牧予定牛の事前検査やワクチン投与等を行っており、牧場内での牛ウイルス性下痢等感染防止に努めております。

入牧状況は、町内酪農家の飼育牛は５月６日に共立牧場へ１５０頭、５月１６日に蕨岱牧場へ１２０頭を入牧いたしました。共立牧場は、入牧頭数に余裕があるため、今年度も豊浦町及び洞爺湖町の酪農家の飼育牛の預託を受け入れ、５月２６日に１２３頭の入牧が終了し、合計３９３頭が入牧しております。

また、公共牧場及び個別経営体において、植生改善による良質な自給飼料生産や暗渠排水整備等による機能向上のため、道営草地整備事業を今年度も予定しております。

生乳生産量は、１月から４月までで３,０５９トン、乳代は２億７,５２０万円となり、前年に比較し１４７トンの減となり、乳代では１,８２２万円の減となっております。

黒毛和牛の１月から４月までの販売頭数は５２頭、販売金額は３,９５２万円となり、前年に比較し、販売頭数で１７頭の減となり、販売金額では１,４９１万円の減となっております。

次に、林業関係について申し上げます。

森林環境保全整備事業の特定森林再生事業で実施している共立地区の植栽事業１．５１ヘクタールは、４月２２日に着工し、５月３１日に完成しております。

次に、有害鳥獣駆除対策について申し上げます。

有害鳥獣駆除対策は、長万部町鳥獣被害防止対策協議会が中心となり、関係機関と連携を図りながら、効果的な被害防止対策を実施しております。ヒグマや近年個体数が急増しているエゾシカ、特定外来生物であるアライグマなどが林業や農業へ被害をもたらしていることから、総合的に対処するため、今年度も引き続き「鳥獣被害防止対策事業」を同協議会に委託し、ハンターによる巡回の徹底や有害鳥獣駆除業務を実施し、被害防止対策の強化を図っております。

今後も関係機関と連携を図り、鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律等に基づき、人畜被害を防止するため適切な処置を実施してまいります。

次に、漁業関係について申し上げます。

基幹産業であるホタテ貝養殖漁業は、令和３年度の生産量は約１６,６０９トンとなり、前年度に比較し２,１３１トンの増で、生産額では４７億９,１２２万円となり、前年度と比較し２０億２,２３５万円の増となっております。

渡島北部地区水産技術普及指導所が、本年３月に長万部町海域のホタテ稚貝の生育等を調査した結果、正常貝は約９５％、変形及び欠殻貝が約３％、へい死等の死貝が約２％となり、例年と比較して良好な生育状況となっております。

ホタテ貝のアイヌブランド化を展開している「アイヌ政策推進交付金事業」につきましては、本年３月に町民の投票によりブランド名を選考し、投票数１，３７３票の中から最も投票数が多かった「湾宝」をブランド名称として決定いたしました。今後は、ブランドホタテ貝の商品開発やＰＲイベントを主として、ブランド構築を町民と一丸となって進めて行きたいと考えております。

次に、商工観光労政関係について申し上げます。

中小企業を取り巻く環境は、新型コロナウイルス感染症による影響に加え、ウクライナ情勢の影響による燃料費や物価高騰により、深刻な状況となっており、今後の経営不安の解消と事業経営の安定化を図るため、中小企業特別融資資金の貸付けを関係機関と連携して実施しているほか、さらなる支援方策として昨年度に引き続き、商工事業者経営改善等支援事業を実施するため、関連する費用についての補正予算を本定例会に提案いたしております。

観光振興では、新型コロナウイルス感染症収束後に新規コンテンツの発掘・情報発信を目指すとともに、引き続き長万部町、豊浦町、黒松内町の３町連携による「はしっこ同盟」、さらには、長万部町、八雲町、今金町、せたな町の「北渡島檜山４町地域連携推進協議会」などの広域連携事業を中心とした活動・取組も一層強化してまいります。

また、昨年度、法人化した長万部観光協会では、ＪＲ長万部駅構内に設置している観光案内所「インフォまんべ」を拠点に、町の観光情報を発信するとともに、積極的な観光客の誘致に努めております。さらに、町を訪れる多くの観光客のみなさまへ長万部温泉や二股ラジウム温泉、飲食店の紹介をはじめ町内の観光情報を提供しております。今後、さらなる事業の展開・拡大・充実が期待されます。

なお、本町の経済活性化の一環であります合宿等誘致事業は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け予約がない状況であります。収束後の再開に向け協議を重ね、合宿誘致のさらなる充実を目指しております。

次に、建設関係について申し上げます。

建築事業では、町営住宅南部団地解体工事、新開公園廃止撤去工事の実施設計業務委託を7月20日までの工期で発注しております。また、町営住宅はまなすシルバーハウジング非常灯交換工事が、10月31日までの工期で施工中であります。これは、はまなすシルバーハウジングの共用部における停電時点灯照明器具の老朽化のため、交換工事を行うものであります。その他、各公共施設や町営住宅の修繕工事につきましては、計画的に実施しております。

土木事業では、長万部中央跨線橋撤去工事を令和5年3月31日までの工期で、北海道旅客鉄道株式会社に工事委託しております。

道路維持関係では、町道中山大通線外舗装補修工事を11月18日までの工期で、管内道路排水等清掃業務を11月30日の工期で発注しております。また、北海道新幹線建設工事に伴う町道路線の廃止及び認定について、本定例会に提案いたしております。その他、町道の維持補修等につきましては、計画的に実施しております。

公園関係では、あやめ公園パークゴルフ場は、4月15日に新型コロナウイルス感染症対策を施したうえでオープンいたしました。また、長万部公園キャンプ場につきましては、新型コロナウイルス感染症対策の観点からバンガローの利用棟数を減らし、4月22日より3年ぶりに今年度オープンしたところであります。

次に、公共下水道事業について申し上げます。

終末処理場内の汚泥脱水機薬品流量調節計交換修繕工事は、12月20日までの工期で、陣屋中継ポンプ所機器交換修繕工事は、令和5年1月20日までの工期で施工中であります。

新幹線建設工事に伴う関連事業の雨水排水管路調査検討業務委託につきましては、令和5年2月28日までの工期で実施中であります。

次に、病院事業について申し上げます。

新型コロナウイルス感染症に対応するため、発熱者外来を継続して開設しております。

町民のみなさまには、患者間の接触を避けるための措置とご理解をいただき、町広報等を確認のうえ受診いただきますようご協力をお願いいたします。

次に、教育関係について申し上げます。

長万部高等学校制服購入費補助は、新入学生の保護者13名から申請があり、68万130円を4月25日に委任払いにより制服納入業者に支出しております。また、長万部高等学校通学費補助は、中ノ沢、黒松内町、八雲町及び森町の通学者19名から申請があり、378万5,700円の支給を予定しております。

国公立大学及び東京理科大学学生に対する奨学金の給付や貸付けは、国公立大学生3名から申請があり、奨学金運営委員会を開催し奨学金の決定をしております。

長万部中学校において、新型コロナウイルス感染症の感染が確認され、5月16日から20日までの間、学校閉鎖を行いました。中学3年生は、5月18日から2泊3日で仙台方面へ見学旅行の予定でしたが、延期いたしました。なお、見学旅行延期に関連する費用についての補正予算を本定例会に提案いたしております。

次に、消防関係について申し上げます。

今年5月末現在の火災件数は野火が2件発生しております。

火災予防では、春の全道火災予防運動期間中、防災ラジオや消防車による防火広報を実施し、各町内に火災予防運動の旗63本を設置いたしました。今後とも火災予防を徹底するとともに、住宅用火災警報器の適正設置と早めの更新を啓発してまいります。

また、以前から課題となっておりました火災発生場所の町民への広報につきましては、6月1日から防災ラジオを活用して実施することにしたしました。

救急業務では、今年1月から5月末までの救急車出動件数が135件、搬送人員が136名で、昨年同期と比べ出動件数は9件、搬送人員は13名と共に増加しております。また、道南ドクターヘリの町内での要請事案は3件となっております。

終わりに、本定例会に提案した議案は、規約の変更、町道の路線廃止や認定、一般会計補正予算など9件となっております。

議案上程の都度、担当説明員から説明させますので、よろしくご審議くださるようお願い申し上げます、行政報告を終わります。